

森ノ宮医療学園出版部 新刊ご案内

■ 季刊誌「鍼灸OSAKA」73号

特集「治療部位としての頭部」

B5判 108頁 2,039円(送料別)

次号予告

74号 特集「頭痛」

年間購読受付中! 7,340円(送料サービス)



■ 鍼灸OSAKA別冊ムック

総特集 東洋の身体知

～[からだ]を通して見るアジア

菊判変形 160頁 1,995円(送料別)



“健康”の追求をキーワードに、気功、太極拳、さらに魔訶不思議な外気功と、近年とみにクローズアップされてきた「気」。その源流をたどることによって、東洋において「からだ」はどう捉えられてきたか、その世界観に迫る。執筆は、白川 静、坂出祥伸、三浦國雄、石田秀実、杉浦康平の各氏をはじめ、東洋学・東洋思想の名だたる研究者、さらに日本における「気」の研究における第一人者・赤塚行雄氏。石田秀美作曲の楽曲CDつき。

「近代鍼灸教育の父

奥村三策の生涯」

松井 繁 著

B6判 238頁 2,500円(送料別)



明治時代、2歳で失明した奥村三策は東西医学に通じ、教科書の編纂、卒業教育の実施など、ひろく鍼灸教育の近代化を推進した。盲学校における鍼灸教育を復活させ、卒業生をマッサージ師として我が国で初めて帝国大学医科大学附属病院に就職させるなど、視力障害者の職域を拓いた。

図書だより

5月10日より、図書室の開室時間が延長されました。平日、午前10時30分から夜間9時30分まで利用できます。OBの方の利用は、図書や雑誌の閲覧は勿論、3点・2週間以内での図書の貸出しも可能です。初めてご利用の際は、運転免許証等現住所のわかるものをお持ちください。蔵書も順次増えており、1万3千点を超えました。学園ホームページからの蔵書検索も、これまではパスワードが必要でしたが、5月から不要になりました。どなたでもご利用になれます。近くまでお越しの際は、もう一歩足を伸ばして、お立ち寄り下さい。

■ 開室時間 平日10:30～21:30(祝日・学校休業日を除く)

はりきゅうミュージアムの利用時間は平日13:30～18:30です。事前に連絡頂ければ、係が説明いたします。ご意見・ご希望はtosyo@morinomiya.ac.jpまで。

書籍紹介

鍼灸 事故防止マニュアル

清野 充典 著 興仁舎 2,800円(税別)



近年、医療事故や医療ミスが多発し、新聞やテレビなどマスコミにぎわしているが、これは鍼灸業界においても対岸の火事ではない。鍼灸での一つの医療過誤が、当事者のみならず業界にとって計り知れないマイナスイメージを生じる可能性がある。事故は絶対にあってはならないが、医療行為である以上、医療事故は必ず起こる。事故は優秀な治療者でも起こるが、その原因の大部分は、治療者の知識不足や未熟な技術などによるもの。知識や鍼灸技術の未熟さを改善する努力と工夫が不可欠だろう。それによって医療過誤は皆無とは言わないが、激減すると考えられる。本書の特徴は、(1)感染症・折鍼や気胸および血管損傷や心タンポナーゼ・内臓損傷・火傷など鍼灸に直接関係のあることから、治療者の心構えや室内の清潔まで事故防止のすべてを網羅している感があること。(2)事故を発生させる禁忌事項とその解説の2つから構成されていること。(3)重症度を分類し配列していること。このように体裁に工夫がみられ簡潔明瞭に書かれて読みやすいものとなっている。今後は社会の安全性に対する認識が高まる状況において、鍼灸師もリスクマネジメントについてより高いレベルで治療の安全性を追求する意識と態度が求められる。そのための手引き書として、現役の鍼灸臨床家のみならず、鍼灸師の卵である鍼灸学校学生にも是非一読してもらいたい本の一冊である。

尾崎 朋文

はりきゅうミュージアム

口絵の説明『棚津家鷹之書』

棚津 常安 著 天正5(1577)年識

8巻 18.0×23.1.0



鷹匠のもとに伝えられた、鷹狩り用の資料集。病気の治療を扱った巻物が2巻あり、そのひとつには鷹のツボが記されている。

ご注文・お問合せは出版部まで

Tel : 06-6976-6889 Fax : 06-6973-3133

ホームページからもオンライン注文受付

http://www.morinomiya.ac.jp/publication/publication_top.html